

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当金庫は、「街のベストパートナーひらしん」を掲げ、お客さま視点に立ったサービスの提供をすることで地域の皆さまと共に歩むことを目指しております。この理念の実現に向け、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を定め、お客さまの安定的な資産形成のため、良質な商品とサービスを提供することによって、お客さまの最善の利益を追求してまいります。

なお、本方針はお客さま視点に立ち、必要に応じて見直しを行ってまいります。

1. お客さまのニーズに適した様々な商品ラインアップをご提供します

投資信託、保険商品の取扱商品を決断する際は、お客さまのニーズやご意向を十分に把握し、お客さまに合わせた資産形成にお役に立つ商品をご提案いたします。

2. 充実した情報の提供と分かりやすいご説明を行います

- ① 投資目的や、投資経験、資産状況に合わせて、お客さまにふさわしい情報をご提供いたします。
- ② ご提案、ご説明にあたっては、各種資料やパンフレット等を用いて、分かりやすい丁寧なご提案、ご説明をいたします。
- ③ お客さまにご負担いただく手数料その他費用について、具体的に分かりやすくご説明いたします。

3. お客さまにふさわしい商品、サービスをご提供します

- ① お客さまのライフプランやニーズ、ご意向に則した、最適なサービスをご提案いたします。
- ② 商品のご購入後も、安心してお取引いただけるよう、お預りしている資産に関する運用状況について丁寧なご説明で情報提供をいたします。
- ③ 市場環境や金融経済動向に関する情報提供やセミナー、勉強会等を開催するなど、投資判断に役立つ情報の提供に努めます。

4. お客さまが安心して資産形成を実現できるための体制を整備します

- ① お客さまとのお取引において、お客さまの利益が不当に害されること（利益相反）のないよう、お取引を適切に管理いたします。
- ② お客さま一人ひとりに合わせた最適な金融商品のご提案やサービスのご提供ができるよう、コンサルティングができる人材を育成してまいります。
- ③ 職員研修の実施や資格取得を奨励し、金融経済に関する専門知識や技能の向上に努めます。
- ④ お客さまの声を反映した、お客さま本位の営業活動を職員が適切に取組むように、評価制度の整備に努めます。

平成 30 年 4 月 1 日制定

本取組みにおける 実践状況及び成果指標(KPI)について (2025年3月末時点)

当金庫は、お客さまの安定的な資産形成に資することを目的として「お客さま本位」の業務運営を実践するため、取組み状況及び2025年3月末時点での成果指標(KPI)を公表いたします。

2025年8月公表
TRibank Hiratsuka
平塚信用金庫



取組方針1. お客様のニーズに適した様々な商品ラインアップをご提供します。

- 商品の見直しは、年1回実施しラインアップを一層充実して参ります。
- お客様のリスク許容度に応じた提案ができるよう、商品カテゴリの分散をしております。

2025年4月1日より対面もしくはインターネット（以下、IS）の両チャンネルで購入できるファンド、IS専用ファンド、NISA対象ファンドの区分を明確化しました。

過去に販売中止としていた30ファンドをIS専用ファンドとして設定。

また、IS及び対対象の5ファンドを新たに追加しました。

【前年度】36ファンド（対面及びIS。内、IS専用6ファンド）

【今年度】71ファンド（内訳：36ファンド（対面及びIS）+35ファンド（IS専用ファンド））

投資対象	商品数（※1）		
	2023年 3月末	2024年 3月末	2025年 3月末
債券	6	2	14
株式	21	23	34
不動産 (リート)	6	4	9
バランス	8	6	13
その他 資産	1	1	1
合計(※2)	42	36	71

<新規採用ファンド>

≪株式系≫

○ジャパン半導体株式ファンド≪国内株式≫

主として、わが国の金融商品取引所に上場されている半導体企業の株式に投資を行うファンド。

○日経平均高配当利回り株ファンド≪国内株式≫

主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行うファンド。

○あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド（てつさん）≪内外株式≫

投資信託証券を通じて世界の株式（新興国の株式を含む）に市場の代表的なインデックスよりも幅広く分散投資を行うことで、リスク分散と収益の獲得を目指すファンド。

○次世代米国代表株ファンド(メジャー・リーダー)≪海外株式≫

主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行うファンド。

≪債券系≫

○マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>

(年1回決算型)【世界のいしずえ】≪内外債券≫

世界のインフラ企業が発行する米ドル建て債券等を、実質的な主要投資対象とするファンド。

※1. 商品数は、投資地域（国内・国内外・海外）の合計。

※2. 合計は、新NISAのつみたて投資枠専用ファンドを含む。

平塚信用金庫では、お客様に対し積立投信を含め“時間分散”による「ドルコスト平均法」を効果的に活用するような提案を行っています。現在、多くの投信ファンドを取り扱っており、アフターフォローの際に、お客様の選択肢の幅を広げながらファンド提案することが可能となります。

取組方針1. お客様のニーズに適した様々な商品ラインアップをご提供します。

- お客様の要望に添えるようノーロード(「販売手数料」がかからない)ファンドも取り揃えております。
- 投信インターネット専用ファンドの申込手数料は、対面での申込手数料から20%割安な設定とさせて頂いており、ISを利用したお申込が多くなってきました。
- 取り扱いファンド71のうち、10のノーロードファンドを取り扱っており、その内7つのファンドは新NISAにおけるつみたて投資枠専用ファンド(ノーロード商品)となります。

区分(※)	商品数		
	2023年 3月末	2024年 3月末	2025年 3月末
ノーロードファンド	8	9	10
ロードファンド	32	33	61

※ロードとは、ファンドの販売手数料のことを意味します。

当金庫のノーロードファンドは主に『今まで投資経験が無い』、『投資信託を始めたばかり』等の投資初心者のお客様向けのファンドであります。

新NISAの「つみたて投資枠」専用商品(7種類)のほかに、「成長投資枠」で購入可能な「しんきん国内債券ファンド」(国内債券系)、「ドルマネーファンド」(海外債券系)、「しんきんインデックスファンド225」(国内株式系)の3種類の合計10種類のファンドとなります。

取組方針 2. 充実した情報の提供と分かりやすいご説明を行います。

- 投資目的や投資経験、資産状況などに合わせて、手数料等を含め、お客さまが必要とする情報を分かりやすく説明し、商品をお選びいただいております。

〈投資信託の販売件数上位5ファンド〉

	2022年度 〈販売手数料率〉	2023年度 〈販売手数料率〉	2024年度 〈販売手数料率〉
1位	たわらノーロード 先進国株式 〈0.00%〉	iFree S&P500 インデックス 〈0.00%〉	ゴールド・ファンド (為替ヘッジなし) 〈2.20%〉
2位	たわらノーロードバラ ンス(8資産均等型) 〈0.00%〉	たわらノーロード 先進国株式 〈0.00%〉	iFree S&P500 インデックス 〈0.00%〉
3位	iFree S&P500 インデックス 〈0.00%〉	ダイワ・インド株 ファンド 〈3.30%〉	ダイワ・インド株 ファンド 〈3.30%〉
4位	グローバルA I ファンド 〈3.30%〉	たわらノーロード 日経225 〈0.00%〉	たわらノーロード 先進国株式 〈0.00%〉
5位	グローバル・ ヘルスケア& バイオ・ファンド 【健次】 〈3.30%〉	たわらノーロード 新興国株式 〈0.00%〉	たわらノーロード 新興国株式 〈0.00%〉

第1位の「ゴールド・ファンド」については、2024年度はロシアによるウクライナ侵攻の長期化により金相場が上昇したことを要因としファンドのパフォーマンスは向上し安全資産との見解から購入されるお客さまが増えました。

第2位の「iFree S&P500インデックス」は、米国の大手企業を中心に運用しており、好調な米国の経済成長の期待感や500銘柄と多くの銘柄に分散投資されている点が評価されました。また、知名度の高いファンドであり、若年層の契約も目立ち、定番のファンドとなりました。

第3位の「ダイワ・インド株」については、新興国であるインド国内の企業の株式に投資するファンドであり、人口増加と共に経済成長率も年々上昇している同国の将来的な成長期待が高まり、多くのお客さまに選ばれました。

また、ほかの2つのファンド（第4位「たわらノーロード先進国株式」、第4位「たわらノーロード新興国株式」は昨年に引続き新NISAにおける「つみたて投資枠」を活用するお客さまが増え、申込手数料のないノーロードファンドであることから、特に資産運用をはじめとおこなうお客さまや投資初心者のお客さまに選ばれました。

取組方針3. お客さまにふさわしい商品、サービスをご提供します。

- 資産形成を目的とするお客さまに、毎月決まった金額で投資する積立型の投資信託をご提案し、年々契約数が増えています。
- 積立型の投資信託のご契約の中でも、「NISA(少額投資非課税制度)口座」をご活用するお客さまが年々増加しています。

【積立型投信の累計契約数】 (単位：件)					【年間の契約件数】 (単位：件)				
積立型投資信託 契約累計数	2023年 3月末	2024年 3月末	2025年 3月末	対前期比	契約種類	2023年 3月末	2024年 3月末	2025年 3月末	対前期比
一般口座 特定口座	302	305	317	+12	一括	701	836	1,305	+469
NISA口座	1,445	2,524	3,414	+1,079	内、投信インター ネットサービス利用	なし	(114)	(503)	(+389)
総計	1,747	2,829	3,731	+1,091	積立型	783	1,367	1,225	-142
					内、投信インター ネットサービス利用	なし	(43)	(215)	(+172)
					合計	1,484	2,203	2,530	+327
					内、投信インター ネットサービス利用	なし	(157)	(718)	(+561)

平塚信用金庫では、NISAを活用した積立型の投資信託の契約は増加傾向にあり投資経験のないお客さまに対する長期・分散・積立による効果的な資産形成の提案を積極的に行っております。

また、2023年12月に投信インターネットサービスを導入していますので、窓口での購入だけでなく、インターネット経由で購入するお客さまも増えています。

2024年度は積立型で購入する件数は142件減少しましたが、「時間の分散」を活用し、国内外のマーケット状況を注視しながらタイミングを見計らい、一括で購入するお客さまが増えました。

取組方針4. お客さまが安心して資産形成を実現できるための体制を整備します

- 金融経済にかかる専門知識、技能の習得を目指し、証券外務員(金融商品における専門家)の資格取得を推奨しています。
- お客さま一人ひとりに合わせた最適な金融商品・サービスの提供ができるよう、コンサルティングが可能な人材を育成していくため、ファイナンシャルプランナーの資格取得を奨励しています。

当金庫の証券外務員資格取得職員数

区分	2025年3月末	
役員を除く 登録者合計	326	人
全職員	326	人
取得率	100	%

当金庫のFP資格者数

技能等級	2025年3月末	
1級	1	人
2級	88	人
3級	237	人
合計	326	人

※FPとは、ファイナンシャルプランニング技能士のことをいう

当金庫の証券外務員資格取得者〈内訳〉

区分	2025年3月末	
第1種	123	人
第2種	332	人
内部管理責任者	129	人

投資信託の販売会社における 比較可能な共通成果指標(KPI)について (2025年3月末時点)

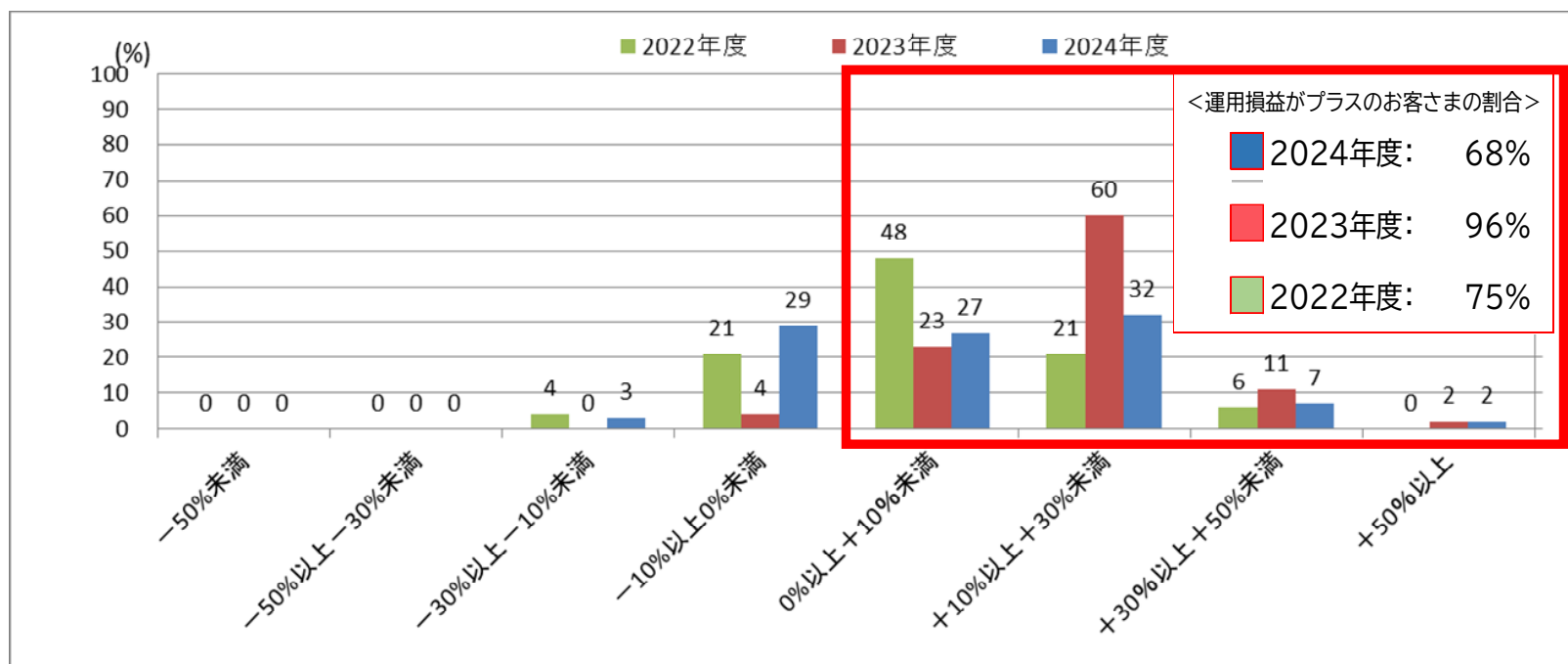
「共通成果指標(KPI)」は、長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンがどの程度生じているかを数値化し、基準日時点の保有投資信託の運用実態をお客さま自身で比較していただくための指標です。



2025年8月公表
TRIbank Hiratsuka
平塚信用金庫

1. 運用損益別お客さま比率

- 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さま分布を示した指標です。
- この指標により、お客さま毎に保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか確認していただきます。
- 運用損益 = ファンドの評価金額 + 税引後の累計受取分配金 - 累計買付金額(含、消費税込の販売手数料)

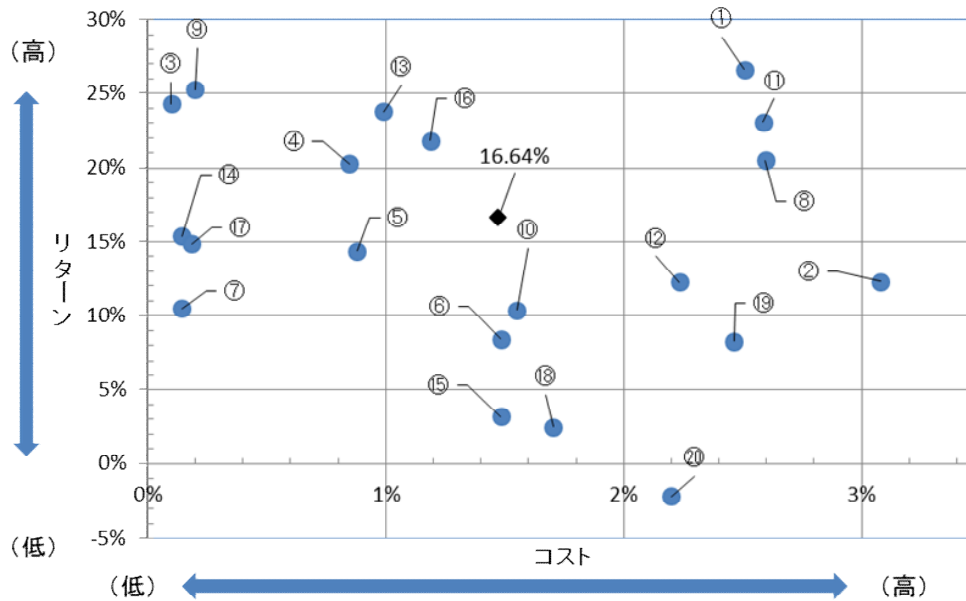


一括買付と定時定額を併用しているお客さまの場合、買付手数料のコスト吸収に約3年程度要します。日本を含む世界株式は前年度に続き堅調な推移となりましたが、2024年1月に制度改正され新NISAとなった効果もあり、投信口座開設し投資信託の運用を開始したお客さまの数が増加したことから(+535口座)、一括買付及び定時定額を行うお客さまの運用実績がプラスのお客さまの割合は、前年度よりも28ポイント低下しました。

2-①. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(2024年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(2025年3月末)



◆コスト・リターン残高加重平均値

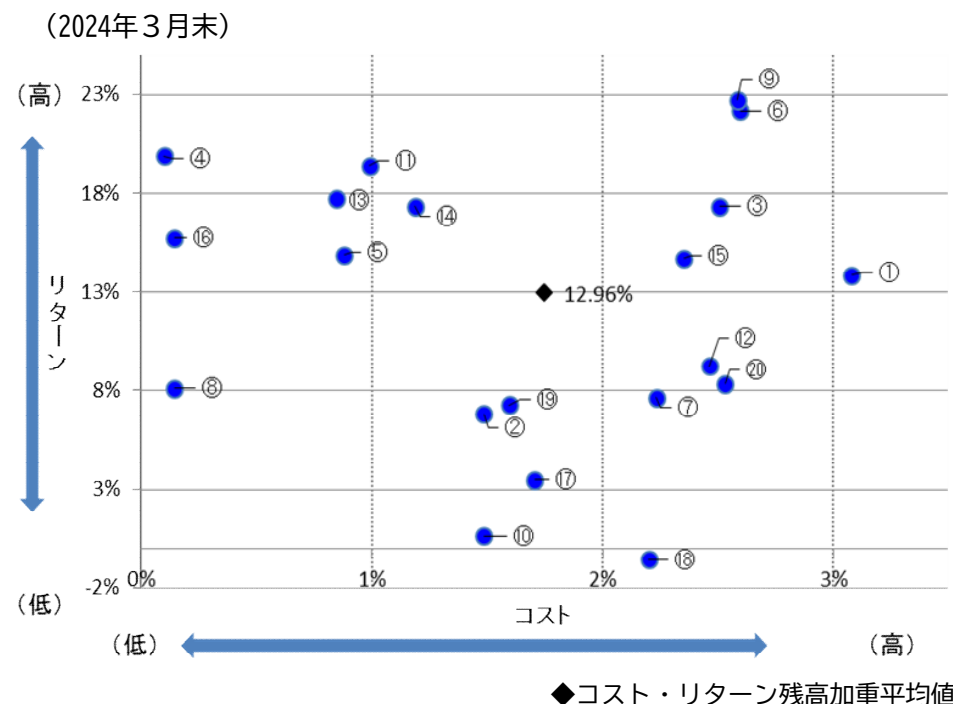
銘柄名
① ダイワ・インド株ファンド
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ たわらノーロード 先進国株式
④ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
⑦ たわらノーロード バランス(8資産均等型)
⑧ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑨ iFree S&P500インデックス
⑩ しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)
⑪ グローバルAIファンド
⑫ 新光 US-REIT オープン
⑬ SMT グローバル株式インデックス・オープン
⑭ たわらノーロード 日経225
⑮ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
⑯ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
⑰ たわらノーロード 新興国株式
⑱ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑲ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑳ 投資のソムリエ

残高加重平均値	コスト	リターン
2025年3月末	1.47%	16.64%
前年同期比	▲0.27pt	+3.68pt

コストは前期よりも若干低下し、リターンの上昇率は3.68ポイント上昇しました。前年度に比べ、国内及び海外の株式市況が堅調であったことから、国内及び海外株式系ファンドのパフォーマンスが引き続き向上したことから、株式系ファンドの買付が多かったことやノーロードの積立型投資信託が2024年度も多くの支持を得て、契約数が伸長したことを要因としております。

2-②. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(2023年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。



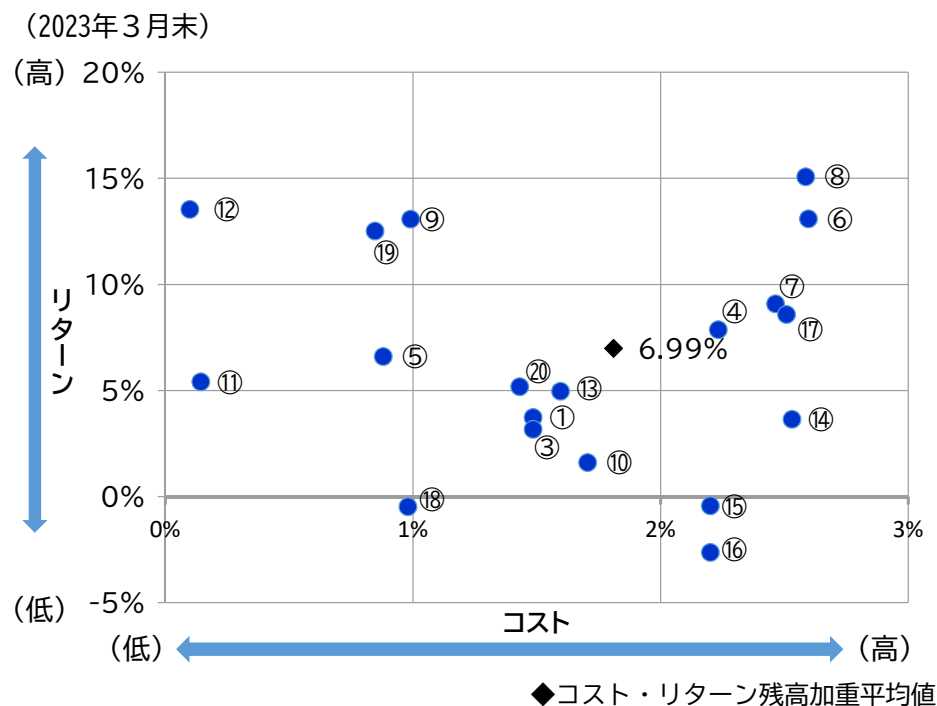
銘柄名
① グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
② しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
③ ダイワ・インド株ファンド
④ たわらノーロード 先進国株式
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑦ 新光 US-REIT オープン
⑧ たわらノーロード バランス(8資産均等型)
⑨ グローバルAIファンド
⑩ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
⑪ SMT グローバル株式インデックス・オープン
⑫ ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)
⑬ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑭ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
⑮ グローバルSDGs株式ファンド
⑯ たわらノーロード 日経225
⑰ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑱ 投資のソムリエ
⑲ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
⑳ 新成長株ファンド

残高加重平均値	コスト	リターン
2024年3月末	1.74%	12.96%
前年同期比	▲0.07pt	+5.97pt

コストは前期よりも若干低下し、リターンの上昇率は5.97ポイント上昇しました。これは前年度に比べ、国内株式及び米国株式の市況が好調な推移を見せたことにより、国内及び米国株式系ファンドのパフォーマンスが向上し株式系ファンドの買付が多かったことやノーロードの積立型投資信託の契約が多かったことによるものであります。

2-③. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(2022年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。



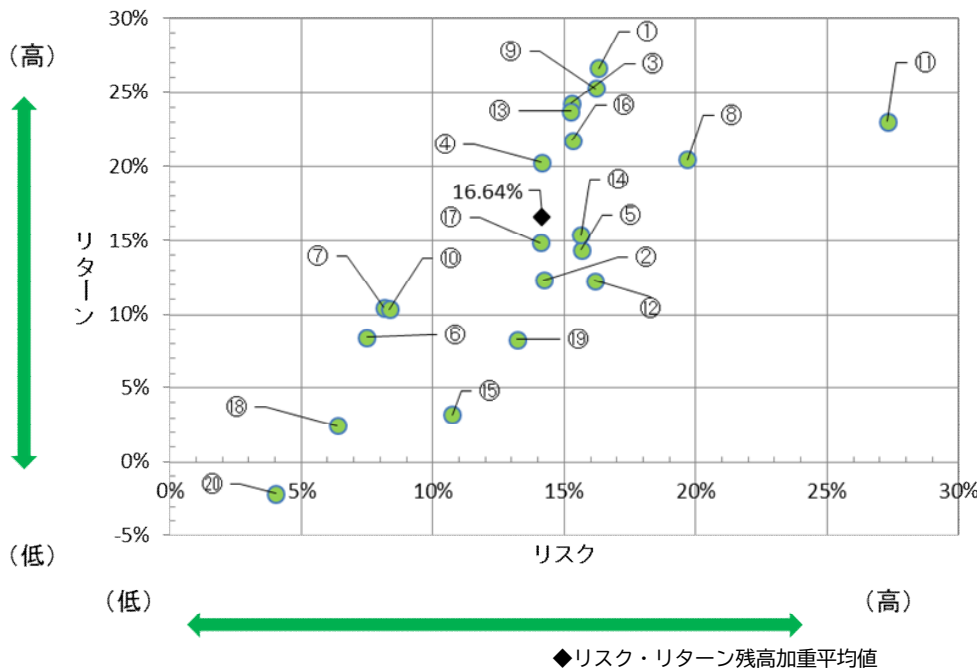
銘柄名
① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
④ 新光US-REITオープン
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑦ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑧ グローバルAIファンド
⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑩ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)
⑫ たわらノーロード先進国株式
⑬ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
⑭ 新成長株ファンド
⑮ 投資のソムリエ
⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑰ ダイワ・インド株ファンド
⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑲ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑳ 明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)

残高加重平均値	コスト	リターン
2023年3月末	1.81%	6.99%
前年同期比	▲0.04	▲1.24

3-①.投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(2024年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(2025年3月末)



銘柄名
① ダイワ・インド株ファンド
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ たわらノーロード 先進国株式
④ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
⑦ たわらノーロード バランス(8資産均等型)
⑧ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑨ iFree S&P500インデックス
⑩ しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)
⑪ グローバルAIファンド
⑫ 新光 US-REIT オープン
⑬ SMT グローバル株式インデックス・オープン
⑭ たわらノーロード 日経225
⑮ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
⑯ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
⑰ たわらノーロード 新興国株式
⑱ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑲ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑳ 投資のソムリエ

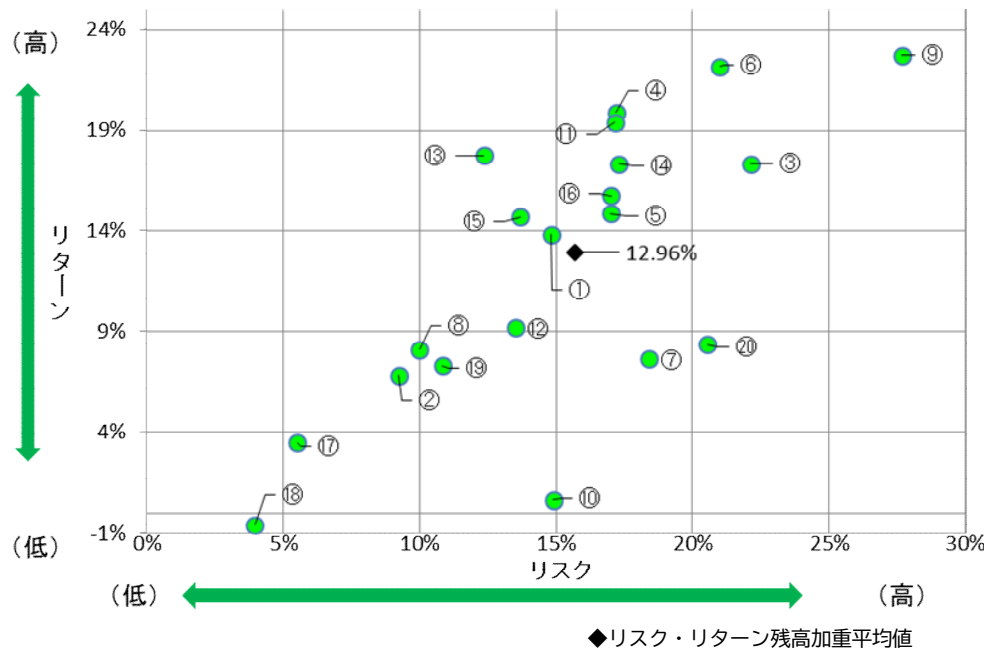
残高加重平均値	リスク	リターン
2025年3月末	14.16%	16.64%
前年同期比	▲1.52pt	+3.68pt

前年度比でリスクは1.52pt低下、リターンは3.68pt増加しております。堅調な米国の景気の影響により、特に外国株式系のリスクはやや低下。比較的パフォーマンスの高い海外株式ファンドを中心に購入するお客さまが増え、適切なリスクをとりながらリスクに見合うリターンを得ることができる商品を提供することができました。

3-②. 投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(2023年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(2024年3月末)



銘柄名
① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
④ 新光US-REITオープン
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑦ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑧ グローバルAIファンド
⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑩ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)
⑫ たわらノーロード先進国株式
⑬ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
⑭ 新成長株ファンド
⑮ 投資のソムリエ
⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑰ ダイワ・インド株ファンド
⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑲ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑳ 明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)

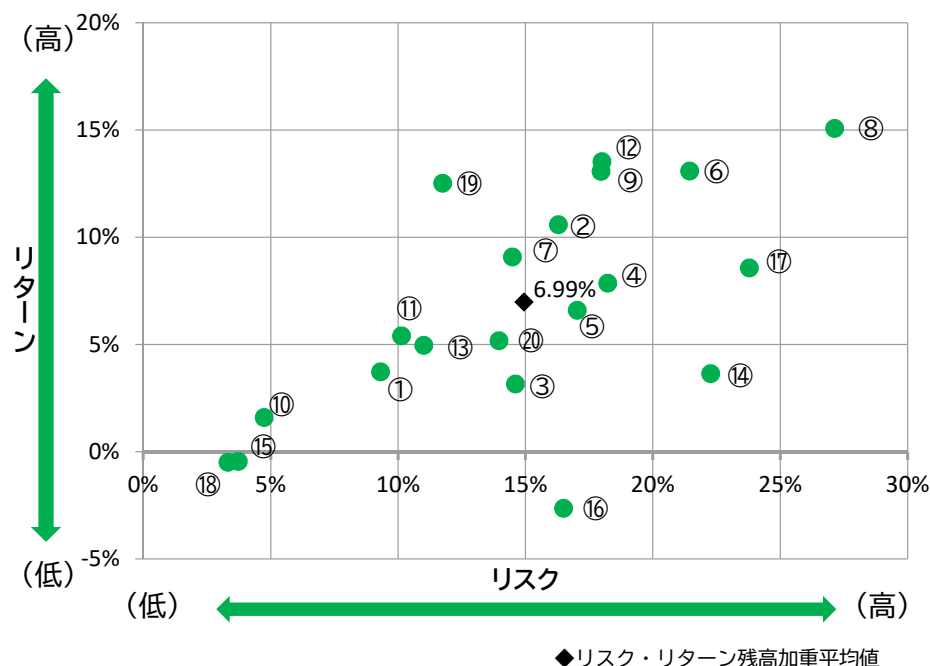
残高加重平均値	リスク	リターン
2024年3月末	15.68%	12.96%
前年同期比	+0.75pt	+5.97pt

昨年度比でリスクは0.75pt増加しリターンも5.97pt増加しておりますが、米国等の外国株式系のリスクランクが比較的高いファンドを購入するお客さまが増え、世界的に株式市況が好調であった影響により、個別ファンドのパフォーマンスが平均的に高まったためであります。

3-③. 投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(2022年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(2023年3月末)



銘柄名
① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
④ 新光US-REITオープン
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑦ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑧ グローバルAIファンド
⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑩ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)
⑫ たわらノーロード先進国株式
⑬ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
⑭ 新成長株ファンド
⑮ 投資のソムリエ
⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑰ ダイワ・インド株ファンド
⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑲ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑳ 明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)

残高加重平均値	リスク	リターン
2023年3月末	14.93%	6.99%
前年同期比	+1.05pt	▲1.24pt